

那須 那珂川源流

苦土川 井戸沢 ~中の沢下降

志満 (記) 平本

前夜、大蛇尾川お疲れさん会に井戸沢前夜祭ということで豪華な焼肉で乾杯した。明日も晴れますように・・・。

8月16日(土曜)

曇り空だ。何とか一日もってほしいと願いながら深山ダムへ車を走らせる。入溪地の三斗小屋宿跡まで車で行かされると聞いていたが、大沢出合の橋にかかっていたチェーンで行く手をふさがれた。ここから徒歩となる。青々とした樹林の中をのんびり歩いていると、後ろから車が私達の脇を抜けていった。え！？も・も・・・もはや？そう、その予感が的中したのだ下山後チェーンを確認したら針金でくくっているだけだったのだ

(とほほ・・・しっかり見れば良かった)

車止めから40分ほどで三斗小屋宿跡に着く。ここは300年ほど前に会津中街道の宿場として40軒近くの温泉宿が連なり栄えた場所だ。今は野原になり石仏だけが当時の面影を残している。



< 三斗小屋跡地 >

ここから坂道を少し下った所に那珂川に架かる湯川橋がありここで沢仕度を整え遡行し始める。橋から30mほど歩いた所で伏流のガレ場となって左から井戸沢が合流していた。行く手はガレと倒木でふさがれていてここがあの井戸沢！？と目を疑いたくなるくらいだ。ガレを5分くらい登ったあたりから水流が出始め2段4mのF1が現われここは左から簡単に越える。その先15mF2の滝、右のリッジを登るのだが上部の小さなハングは残置シュリングに助けてもらった。15m階段状の滝は安易な登りだがなかなか高感度がある。その先はナメや小滝が連続し、記録によるとF1から二俣までの標高差200mの間に12個の滝が続いているという。



この連瀑帯はどれも軽快に実に気持ち良く登れ、思わず顔がほころんでしまうところである。時折水流に突っ込んだ

り釜に浸かったりと水と戯れる。
1390m の二俣からは一気に水流が細くなりそれでもなおナメが続く。そのまま沢筋を忠実にツメて行くとやがて膝位の笹の草原となり踏み跡をたどること僅かで稜線に出る事が出来た。

「藪漕ぎがないのってラクゥ～」
稜線は残念ながらガスで展望がきかない。晴れていれば会津田島の盆地や那須高原の山々が見渡せて気持ち良いだろうな・・・ん～残念！シューズに履き替えて早々に下山開始。流石山を越え大峠に向かう時折視界が開け笹の草原の眺望がすばらしく歓声があがる。



<大峠のお地蔵さん>

大峠からは何度か飛び石伝いに小沢を渡り峠も横切る。この峠沢の下降も考えたが藪や倒木が多くスカ沢らしい。小さな尾根をひとつ越えると登山道は中の沢を横切って三斗温泉へ続いている

私達はここでまた沢支度をし、この沢を下降していく。最初は平凡だけど下るにつれてナメの沢となる。このナメは井戸沢とまた違った溪相で、川幅広く緑鮮やかな樹林に囲まれた穏やかな流れである。右から峠沢が合流した辺りから赤岩のナメとなり明るく気分が良い。日差しも出てきてさらにハイテンション！今までいろいろなナメを遡行してきたけれどここまで綺麗なナメはあったのだろうか。やがて井戸沢と合流し、林道にあがった。

大沢出合ゲートP 7:55→8:35 三斗小屋宿跡→8:45 湯川橋(那珂川源流の碑)
9:05 9:10 井戸沢出合→10:35 二又(1390m)→11:30 稜線→11:50 流石山
12:40 大峠→13:00 峠沢→13:30 中ノ沢下降→14:20 峠沢出合 15:00 井戸沢出合→16:00 ゲートP

【地図】 1/25000 那須

【温泉】板室温泉幸の湯(かけ流し)
600円

*下山にはやはり中ノ沢の下降をお勧めする。とにかくナメが美しい。遡行するのも良いかもね



<中ノ沢のナメ>